

令和元年第2回双葉町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜りまことにありがとうございます。

新たな元号「令和」の時代を迎え、双葉町の復興・再生と町民の皆様の生活再建などの重要課題に、引き続き職員と一丸となって全力で取り組んでまいります。

3月定例会以降の行政経過についてご報告いたします。

3月25日、中野地区復興産業拠点内で初めてとなる双葉町の双葉住コン株式会社と東京都の大林道路株式会社による共同企業体である双葉中央アスコンの起工式が行われ、働く拠点の第1号として整備が進められています。

3月28日、双葉町のまちづくり会社である「一般社団法人ふたばプロジェクト」の設立社員総会が開催されました。官民連携・協働によるふるさとふたばの創生を基本理念として、「つなげる」「うみだす」「はぐくむ」のそれぞれの役割に沿った事業の展開を期待しております。

4月1日、帰町準備室を設置し、帰町に向け各課横断的な取り組みを本格化させました。

まずはその一環として、「双葉町放射線量等検証委員会」を設置し、4月23日、有識者5名の方を委員に委嘱しました。検証委員会では、避難指示解除準備区域とJR双葉駅周辺等の先行的な避難指示の解除、そして特定復興再生拠点区域内の立入規制緩和を目指すうえで必要となる、放射線量の低減状況や除染の実施内容などを町として確認し、評価していくこととしております。

4月8日、双葉町立小・中学校合同入学式及びふたば幼稚園入園式を挙行いたしました。南小学校に2名、北小学校に3名、中学校に1名が入学、ふたば幼稚園には3歳児、4歳児、5歳児それぞれ1名ずつ入園いたしました。園児、児童、生徒数の合計は昨年度当初より2名多い54名となりました。

4月16日、中野地区復興産業拠点内において、双葉町産業交流センター建設工事の安全祈願祭及び起工式を挙行いたしました。この施設は、県が整備するアーカイブ拠点施設及び復興祈念公園が隣接することから、復興ツーリズムの拠点にもなる町の中核施設として、来年7月の開所に向けて整備を進めてまいります。

5月25日には、町立学校仮設校舎体育館で学校再開以来5回目の幼稚園、小学校合同運動会を開催いたしました。今年は、昨年より園児、児童数が2名多い42名での運動会となり、来賓や保護者も参加し、笑顔と歓喜にあふれた運動会となりました。

6月4日、いわき事務所において、地元企業である株式会社伊藤工務店と勝山工業株式会社の2社と、中野地区復興産業拠点への企業立地協定締結式を行いました。引き続き産業拠点へ進出を希望する企業と詳細協議を行っており、協議をすみやかに整え、順次企業立地協定を締結していく考えです。

最後に本定例会に提案いたしました、案件について申し上げます。

報告が2件、専決処分の承認が2件、条例の一部改正が3件、契約等の締結が5件、土地の取得が1件、令和元年度一般会計・特別会計補正予算(案)が3件、合わせて16件となりますので、慎重なるご審議をいただき、議決賜りますようお願い申し上げます。